

北九州市立 霧丘中学校

Doing Hard is Fun

一生懸命は
楽しい

Doing Hard is Fun

学校教育目標

人権尊重の精神を重んじるとともに「生きる力の育成」を目指し、「確かな学力」、「豊かな心」と「健やかな体」を育む教育の充実に努める

令和4年度 学力と体力の向上に向けた霧丘中学校の取り組み

授業力を磨く！ 授業中の姿勢をよりよく！

令和4年度、本校で行われた学力を向上させるための取り組みを2つ紹介します。

1つ目は「**授業力向上の取り組み**」です。この取り組みは全教員が他の教員に授業を公開し、お互いに授業を参観し合うものです。9月～11月の実施期間中、のべ**42人**が授業見学を行い、フィードバックを受けることなどを通して授業力の向上について考えることができました。12月に行われた生徒への「学校生活アンケート」では「先生はわかる楽しい授業づくりに努めているか」という項目について、**86%**の肯定的な回答を得ることができました。また、取り組み期間以外でも、他の教員の授業を積極的に観る教員の姿も見られます。生徒にとってのわかる楽しい授業とはどんな授業なのか？これからもよりよい授業を実施できる体制を築きたいと思います。



2つ目に「**新・授業態度点検**」を行いました。この取り組みは生徒会が主体となって取り組んだ活動です。昨年の生徒総会で1年生から「悪いところを見るのではなく、よいところを探す点検活動をしてはどうか？」というアイデアが出ました。霧丘中学校では各委員会が様々な点検活動を行っています。例えば、チャイム席が守れているかどうかをチェックする「チャイム席点検」、忘れ物がないかをチェックする「忘れ物点検」などです。今回は学級委員会の「授業態度点検」という活動において、授業中に悪かったところではなく、その授業ではどんなところがよかったのか、という視点を入れて各授業をABCで評価しました。この日々の結果を各クラスの学級委員が帰りの会で伝え、次はどんなことを頑張るべきかの共有を行いました。これにより、前向きな雰囲気が生まれた学級も多かったようです。また、優秀なクラスを2学期末の終業式で表彰しました。

2つの取り組みを紹介しました。今後も霧丘中学校に伝わる「一生懸命は楽しい！」の言葉を胸に、学力向上に全力で取り組んでいきたいと考えています。

体力 UP へおけて

新型コロナウイルス感染防止のため中止されていた新体力テスト（握力・長座体前屈・反復横跳び・上体起こし・20mシャトルラン・50m走・立ち幅跳び・ハンドボール投げ）を令和4年6月に2年ぶりに行いました。前年度の自分自身の結果との比較ができず、成長過程が2年前のもの

なることから、今年度は各種目において全国平均値との比較（Tスコア）を用い考察し、今年度の体力テスト（6月実施）に向けて数値が上がる（体力向上）よう取り組みを行ってきました。本校の各学年における全国平均より劣っている種目は下図のようになっています。ほぼ全種目において全国平均値より劣っている記録が多く、保健体育科として生徒それぞれの体力向上を見据えた計画を立て、実行してきました。週3時間の体育授業では、開始5分間を「体力UPタイム」として、集団走（2分間）、準備体操後に腕立て伏せや腹筋、背筋（筋力）、馬跳び（巧緻性や脚力）、前屈ストレッチ（全身柔軟性）を取り入れてきました。現在では持久走（10分走）、縄跳び等体力を向上させる授業（各学年ごとに工夫）に取り組み、生徒は意欲的に取り組んでいます。この活動から記録が伸びる（体力向上につながる）ことにより生徒は更に運動に親しみ、より体力向上に向け運動や体育の授業への関心、意欲が高まることを期待しています。今後も生徒の体力向上に向け、日々の生活や授業の中でサポートしていきたいと考えています。

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ
1年男	53.2	46.4	45.7	49.0	49.3	50.8	50.4	45.5
1年女	52.1	42.3	46.9	45.1	44.0	46.2	46.8	43.3
2年男	55.1	48.9	53.6	48.1	47.4	52.5	51.1	48.0
2年女	51.6	45.9	52.2	42.0	43.1	50.9	50.8	44.2
3年男	52.2	46.8	47.0	43.7	48.1	46.6	46.2	44.6
3年女	47.4	40.9	45.5	36.2	44.4	44.8	42.5	43.2

※この表のTスコアは50を超えていれば、全国平均より上回っていることを表します。

ICT 機器との上手な付き合い方

本校では一人一台端末を用いた授業実践も行っています。また、生徒のみなさんは日頃からスマートフォンやタブレットなど、ICT 機器に触れる機会も増えてきていることだと思います。ICT 機器は便利である一方、気をつけなければならないこともあります。前年度の全国学力・学習状況調査で、「1日にどれくらいの時間ゲーム（PCゲーム、携帯式のゲーム、スマートフォンのゲーム）をしていますか」の質問に対して、「2時間～4時間」と答えた本校生徒の割合は69.8%です。ちなみに福岡県は53.9%でした。

霧丘中学校には「スマホ・ゲーム・SNSルール5則」という健康委員会が作成した独自のルール（右図）があります。廊下に掲示し、生徒への呼びかけを行っています。また、保健だよりでも「ゲームやスマホをした後は、脳がフリーズして、30分から1時間は何も使えない状態になる」という話が取り上げられています。中学校生活における適切なゲームやスマホとの付き合い方を、考えていきましょう。

スマホ・ゲーム・SNS ルール5則

- 1

スマホ・ゲーム・SNS
使用は22時にSTOP!
- 2

1日の使用時間は
1時間以内!
- 3

勉強する時は
電源OFFにして
家の人に預ける!
- 4

寝る前に電源OFFにして
布団に持ちこまない!
- 5

自分ルールを作ろう!
(上の4つ以外で)

霧丘中学校